



会報 No.136 令和元年7月号

幼児教育・保育無償化等の変革の中で

一般社団法人八王子市私立保育園協会 会長 宮崎 豊彦

5月の定期総会では、事業報告、役員改選、事業計画等のご承認をいただきましてありがとうございました。私も会長として3期目となりますが、任期である2年間、八王子市私立保育園協会の会員園の皆様の為に頑張っていきたいと思っております。今後共ご支援、ご指導をいただきますよう、よろしくお願い致します。

令和元年（2019年）度は何といても10月から実施される幼児教育・保育無償化の問題があり、大きな転換を迎える年となります。

会員園の皆様には、給食費の徴収についてのアンケートにご協力をいただきありがとうございました。

アンケート結果については7月4日に会員園の皆様へメールをさせていただきましたが、アンケート結果を踏まえ、6月25日の役員会において八王子市私立保育園協会が事務の代行については行わず、各園での徴収という事になりました。10月からの給食費の徴収については早めに金融機関との打ち合わせを行う等の対応をお願い致します。

そして、7月1日には予算対策部及び特別委員会を中心に令和元年度、令和2年度の八王子市保育政策提言書をまとめていただき、八王子市の担当課へ提出致しました。今後は提言書が少しでも実現できるように努めると共に、幼児教育・保育無償化に伴う保育現場の混乱をできるだけ避ける為に八王子市との話し合いを進めていきたいと思っております。

給食費負担額等市区町村格差がどのように進んでいくのかも注目していかなければなりません。八王子市との話し合いの中で少しでも保護者負担と事務負担の軽減に繋がればと考えております。

公定価格の見直しについては、個々の経費項目を算出し積み上げていく「積み上げ方式」の継続を堅持して、介護報酬制度などに使用されている「包括方式」とならないよう保育団体全体での活動が行われると思っております。秋頃には、経営実態調査の結果を取りまとめたものが提示され、子ども・子育て会議等で議論されます。子ども・子育て支援新制度施行後5年の見直しのタイミングにおいて、経営実態や収益性、公費負担の範囲などの観点から公定価格全体の適正化について早急に検討を加え、その内容を反映された令和2年度の予算編成が年末に行われる流れとなります。八王子市私立保育園協会の事業計画でも触れさせていただきましたが、その推移を注視していくと共に全国保育団体への協力もしていかなければならないと考えています。

令和という新しい時代が始まり、10月から保育料の無償化等の変革の中にいる今だからこそ、もう一度福祉とは何か、保育園の果たす役割とは何か、経営的なことに重きを置きすぎているか、等々を考えてみる必要があるのかもかもしれません。

令和の時代は、保育園にとって追い風になるのか向かい風になるのかはわかりませんが、子ども達と過ごす1日1日を大切に保育園運営を進めていきたいと思います。

2019年度 一般社団法人八王子市私立保育園協会 定期総会報告

2019年5月30日に京王プラザホテル八王子にて定期総会を行いました。

総会前の時間に6社の業者説明があり、14時から一般社団法人八王子市私立保育園協会2019年度定期総会開会の言葉を榊原副会長にして頂き、宮崎会長の挨拶で総会が始まりました。

定期総会前に八王子市より行政説明がありました。南大沢図書館の伊藤主事から、八王子市の図書館が実施している児童向けサービスについて、ブックスタート・3歳児健診読み聞かせ、こどもおはなし会、親子に対する図書の貸出しや情報の提供、読み聞かせ出前講座について説明がありました。「保育園への出張は」との質問に対しては、残念ながら無いとの回答でした。生涯学習政策課の塩澤主査からは、家庭内において社会のマナーや基本的な生活習慣、学習習慣を児童・生徒に身に付けさせることを目的とした「家庭教育啓発リーフレット」の配布について説明があり、後日改めて各保育園に園児数分を送付するとのことでした。大横保健福祉センターの仲井課長補佐からは、乳幼児健診斡旋のお礼と妊娠・出産・子育ての総合案内窓口である「子育てほっとライン」の活用依頼がありました。「子ども家庭支援センターや保育園との連携の計画は」との質問に対しては、ネットワーク会議へ出席させてもらったり、親御さんの了承を得て個別の方を通じて保育園にご相談に行かせてもらうことを積み重ねているとの回答でした。子どものしあわせ課の小島主査からは、4月1日現在の保育施設の受け入れ状況、待機児童数が昨年度より30名軽減されたということと、保・幼・小連携の日の今年度の取り組み・赤ちゃんふれあい事業について実施予定報告がありました。保育幼稚園課の大垣主査からは、消費税引き上げに伴う増収分を活用し本年10月から実施される幼児教育・保育の無償化について、対象者は、幼稚園、保育所、



認定こども園等を利用する3歳から5歳の全ての子どもと、保育所、認定こども園等を利用する0歳から2歳の住民税非課税世帯の子ども、そして保育園(3~5歳)の給食費については、現在保育料の中に含まれているが、無償化後は幼稚園と同様に保護者の実費負担になるとのこと、それから、八王子市の2019年度の当初予算の内容から民間保育園該当部分について、保育サービスの推進、幼児教育・保育の質の向上についての説明がありました。保育の無償化に関しては、今後国からの詳細が随時示されてくる中、保育園と情報の共有を図りながら検討を進め、円滑に進めていきたいとのことでした。そして最後に、東京都の福祉サービス第三者評価について、東京都福祉サービス評価推進機構の竹谷氏より、東京都の福祉サービス第三者評価の制度概要について説明がありました。

議長団の選任には牛尾議長（めぐみ第一保育園）、石原副議長（光明第五保育園）が選ばれました。書記には石井先生（なみのり保育園）、議事録署名人には石政先生（わらべふじ森保育園）、塚本先生（由井さゆり保育園）が選ばれました。

牛尾議長の進行で第一号議案「2018年度 事業報告（案）、決算報告（案）、及び監事監査」、第二号議案「一般社団法人八王子市私立保育園協会 会則改正（案）」、第三号議案「役員改選の件、新役員の承認」、第四号議案「2019年度事業計画（案）、予算計画（案）」として審議され、79名の出席及び委任状をもって過半数に達し、すべて賛成多数で承認されました。

第二号議案の「一般社団法人八王子市私立保育園協会 会則改正（案）」では、石井事務局長より第11条4項（その他必要に応じて、新しい部、および委員会を組織することができる。）6項（特別委員は本会の役員となり、役員会に出席する。）第17条2項（代表者（部長）は役員となり、部および委員会に所属し、役員会に出席する。）宮崎会長より第6条（副会長2～3名）との提案があり、賛成多数で承認されました。

予定されていた議案はすべて終了し、議長団は解散され、次に7名の新任園長の紹介がありました。（浅川保育園・野澤敬太先生、八王子隣保館保育園・瀬沼靖子先生、藤井保育園・榊原直哉先生、光明第七保育園・森恵先生、光明第八保育園・太田都先生、せいがの森こども園・筒井正人先生、みなみ野敬愛保育園・高橋伸哉先生）



今年度の永年勤続者表彰は、9名が表彰を受けられました。南大沢保育園・熊澤千代子先生（31年）、美山保育園・大木万理子先生（30年）、美山保育園・金子とし子先生（30年）、浅川保育園・田村美奈子先生（27年）、南大沢保育園・矢島和代先生（26年）、八王子ひまわり保育園・安部一枝先生（25年）、横川保育園・石部香代子先生（21年10か月）、敬愛フレンド保育園・石井亜矢子先生（20年）が宮崎会長より一人ひとり表彰され、美山保育園の大木万理子先生より謝辞を述べられました。（欠席：城山保育園・藤村美奈先生（20年））

光宗副会長の閉会の挨拶で定期総会は終了し、18時から懇親会が行われ、石森孝志市長や議員・行政関係者各位、多数の方々が駆けつけて下さいました。塚本先生（由井さゆりの丘保育園）に乾杯の挨拶をして頂き、永年勤続者を囲んでの和やかな時が進み、齊藤先生（さつき保育園）の中締めのお言葉で懇親会は閉会しました。（梅野）



シリーズ 私の保育園

打越保育園

園長 光 宗 政 治

長沼町にあるのになぜ打越保育園なのか。

この問い合わせはよくありますのでお答えします。打越保育園は昭和40年に東京都より認可の許可を得、打越町で開園しました。ところが、現在の野猿街道が打越町の方への拡幅工事が始まり、旧打越保育園園舎が道路拡幅工事の路線に引っ掛かり、平成2年4月に現在の長沼町に移り名前はそのままにして運営しています。また、平成29年4月より障がい児専用の新園舎を保育園の裏に建設しました。同時にJR片倉駅前に分園もスタートしました。

現在の定員について

現在の在園児は、弾力化協力を行い定員140名に対し153名の子ども達を保育しています。また、JR片倉駅前の分園は11名の子ども達を保育しています。合計164名

障がい児保育について

平成31年4月の時点で打越保育園・分園合わせ164名の園児の内24名の子ども達が八王子市より障がい児として認定されています。

内訳としては、脳性マヒ3名・脳梁欠損3名・ダウン症4名・自閉症3名・先天性筋緊張低下2名・その他5Pモノソミー・裂手裂足・パリスターキリアン症候群・膀胱機能障害・代謝異常症の園児達が各1名在籍しています。また、厚生労働省難病指定児としては、ファイ・ファー症候群・ウイリアムズ症候群・ウエスト症候群・筋ジストロフィーの子ども達各1名在籍しています。このうち経管栄養・胃ろう・導尿・吸引・浣腸等医療的ケアを行っている子ども達が6名です。

ここで、今まで色々な形で保育園に保護者・行政機関から質問が多かった事についてQ&A方式で書きます。

Q1 どの様にして入園を決定しているか。

A1 障がい児特別枠は、通常の申請よりも2・3か月早く内定しています。理由としては、障がいをもった子ども達を担当する看護師・保育士の確保です。看護師・保育士等の求人活動はたいへん苦勞します。そのような理由から八王子市と調整のう



新園舎 平成29年4月スタート 打越保育園裏側

え2・3か月早く内定をし、保護者からの本申請後・決定通知を八王子市より各家庭に郵送します。

Q2 入園申し込みの条件はあるか

A2 ①就労等により保育の必要性が認められている事。

②子どもの主治医より保育園での集団行動が可能であると許可を得ている事。

Q3 内定した方には以下の2点に同意頂き入所の申請をしてもらっています。

A3 ①土曜日については、担当保育士・看護師が土休の為、土曜保育はしない

②朝8時～夕18時頃までの保育時間

Q4 募集はどのようにしているか

A4 市内3か所の保険センター・保健所・島田療育八王子・多摩・八王子市役所計6か所に10月頃募集のポスターを掲示しています。ポスターは八王子市と打越保育園と調整し「障がい児特別枠入園募集」として作成しています。

Q5 入園決定後の保育園としての活動は

A5 入園決定後翌年2月頃に個別に保育園で園長・看護師・栄養士・担当保育士等交えて面接を行います。

面接内容として、現在の状況等を伺い、保育園で用意する物の確認、担当主治医へ薬・食事等の依頼書をお願いします。

Q6 なぜ普通の保育園入園を希望されるのか

A6 ①健康児との触れ合いにて、少しでも子どもの成長を促したい。

②子どもの兄弟には経済的に負担を掛けたく



医療的ケアールーム

ない。色々な施設はあるが、夏・冬・春休みがあり、正規社員として働きにくい。保育園に入園出来れば、その間は正社員として働く事が出来る。保護者としては、1円でも多く働き、障がいの子どもの為に残してあげたい。

Q7 担当職員採用の苦労は何か

A7 看護師の場合は経験が必要です。面接しても小児科の看護をした事がない事や、経管栄養等の経験がないとの理由にて断られるケースがあります。保育士の場合は、障がい児への理解不足から断られるケースがあります。

Q8 障がい児に対してどのような保育をしているのか

A8 基本的には全員同じ保育をしています。障がい児には基本的に対一の形で保育をしています。ただし、体育指導の時間は障がい児用の別館に移り、リハビリを行ったりして過ごしています。打越保育園では、障がい児がOT・PT・ST等各医療機関に行く場合は、保護者の了解を得、同行し保育園での保育活動に活かしています。

Q9 給食での配慮はありますか

A9 障がい児に於いては咀嚼能力や飲み込む能力が乏しい子ども達が多いです。その為に経管栄養とか、胃ろう等を行っています。その他にも個別対応食を調理しています。数としては15名です。この個別対応食を担当しているのが栄養士で、主治医の指示書に従って調理しています。給食メニューは健常児と同じですが、作った主食・副食をペースト状にしたり、小さく切り食べ易くしたり、とろみを付けたりします。担当栄養士は毎日喫食状況を見回って将来の為に記録しています。

以上がよく、保護者・他市行政から問い合わせされる事です。

最後に八王子市私立保育園協会の会員皆さんに打越保育園から聞いて欲しい事があります。

障がいを持った子ども達の保護者は弱いです。苦しんでいます。現在、八王子市では障がい児が保育園に入園する為には、事前に各保育園に子どもと一緒に訪問し、園長から入園出来るか確認が必要となっています。各保育園にもこの様なケースにて、保護者の人からの電話にての問い合わせや、直接来園されていると思います。しかし、その様な時、保護者の皆さんからは次のような苦情が多数打越保育園・八王子市行政に寄せられます。①電話にて障がいの事を言っただけで、一言「無理です。」と言われ電話を切られた。②障がいの事を言うと「その様な子どもは自分で育てるべき。」と言われ逆に説教された。③保育園を訪問した時、障がいの事を言うと門から先には入れて貰えなかった。④私の保育園では毎日〇km子ども達は走っている。走れない子の入園は無理です。⑤保育室は〇階にあり、自分の足で〇階まで歩いて行けない子は無理です。⑥保育園に訪問した時園長より「縁があったら、また、会いましょう」と言われた。

全ての保育園がこの様な対応をしているとは思いません。

しかし、この様な言葉を園長より言われ障がい児を持つ保護者の皆さんは号泣しながら家に帰った。と聞きます。

皆さん、これで良いのか考えて下さい。確かに現在、どこの保育園でも保育士不足ではありますが、その事とこの様な対応とは別の話です。どうか、もう一度障がい児を持つ保護者との対応の仕方について考えてみて欲しいと思います。

以前、打越保育園0歳児クラスの子どもの髄膜炎から脳が破壊され、耳が全く聞こえない状態になりました。園長として、保育士からはその子の保育は出来ないと要望が出ると思っていました。保育士一同から保育園全体でこの子の為に手話を習いましょうと提案がありました。びっくりしました。まさか、

この様な話が出るとは思いませんでしたが、成長した保育士が嬉しく頼もしかったです。

打越保育園はこの様に障がい児を積極的に受け入れています。この事業が出来るのは、八王子市行政（保育幼稚園課・障害者福祉課・保健所・保健福祉センター等）・島田療育センター（八王子・多摩）・

打越保育園で勤務している62名のスタッフ・保育園近隣の住民・全ての保育園保護者等・八王子市私立保育園協会の皆様色々な形での理解と協力によるものです。総費用は一億一千万で（土地代含む）補助金三千万、自己資金八千万です。

この紙面をお借りして感謝申し上げます。

めぐみ第二保育園

園長 牛尾 浩

鑓水の地に保育園を開園してから、昨年20周年を迎え、外壁塗装工事や修繕工事、備品の入替をおこなってまいりました。この20年という長い間保育園の運営をしてこられたのも、行政関係者、保育関係者、保護者の皆様、学校関係者、地域の皆様のご協力をいただいたおかげです。保育園に関わっていただいたすべての皆様に感謝申し上げます。

さて、保育園開園時の記憶をたどれば開園の1年前に鑓水小学校、鑓水中学校が開校し、小学校の東側に都営鑓水団地が出来たのが町の始まりでした。保育園が開園した当初は南側の東谷公園をはさんで周りには住宅は無く野原でした。そんな中でも園児はおかげさまで定員以上の入園者がいて、にぎやかな毎日が始まりました。当時は幼児クラスの子も初めて保育園に入園した子も多く、園庭遊具で遊ぶのも何となく危なっかしく思えました。2年目、3年



目となると園児は進級して保育園で過ごす時間も多くなり、遊び方も工夫して遊ぶようになっていました。近隣では3年おきに住宅が建ち、小学生、中学生も増えてより一層とにぎやかな街になりました。保育園の活動ではエンゼルプレイスという保育園に預けていない地域の親子が集うひろば事業が定着し、多くの親子が参加しています。

これからの保育園は、平常時における安全で安心して預けられる保育園としての役割と、大規模災害が起きた時にも地域の皆様と協力して助け合いができる保育園としての役割が大きいと思います。鑓水の地域では保育園、小学校、中学校が歩いて5分圏内に立地していますので、近隣の皆様とともに、安全で安心して暮らせるよう、自助、共助、公助の取組を推進していきたいと思っています。

結びに、より一層研鑽に励み保育園の運営に努力してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



編集後記

夏めく長い梅雨が続きますが、この号が出るころには明けている事でしょう。また暑い夏が来るのでしょうかね。セミの声がちらちらと聞こえてきましたね、子ども達は元気に汗をいっぱいかいて毎日を楽しんでいます。七夕、夏休み、夏祭りイベント沢山の7月もう終わろうとしています。暑い日が続きますが保育者の皆さま熱中症に注意して頑張りましょう。来年の7月（オリンピック）は盛り上がりつつある事でしょう。（落合）